



かならずま
へんとを
見よう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 異国のふんいきがただよう町並み。
- 2 朝早くに食事を済ます。
- 3 休みの日に映画を見る。
- 4 人の意見を否定する。
- 5 校長先生が作品展を二覧になる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 春のけはいを感じる。
- 2 月をかんそくする。
- 3 物体のしつりょうを調べる。
- 4 市外きよくばんからかける。
- 5 家をかいちくする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「自分の国とは異なる国」のことだよ。
- 2 「済ます」は「終える」と言いかえられるよ。
- 3 「映画館」だと大きなスクリーンで見られるね。
- 4 「否」は「こぼむ」という意味があるよ。「否定」の反対は「こう定」だよ。
- 5 「二覧になる」というのは「見る」の尊敬語で、「こちらを二覧ください」とも言うよ。
- 二 1 「けはい」は「感覚的にそうだと感じること」だよ。「け」は「きもち」、「はい」は「ほいち」と同じ字だよ。
- 2 「かんそく」は「天体や気象などをかんさつして、そくていすること」だよ。
- 3 「しつ」は「ふつしつ」と、「りょう」は「ふんりょう」と同じ字だよ。
- 4 「きよく」は「ゆうびんきよく」と同じ字だよ。
- 5 「かい」は「あらた(める)」、「ちく」は「けんちく」と同じ字だよ。



分かんないときは
先生に尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 川の源流をたどる。
- 2 敬老の日を祝う。
- 3 歌詞の意味を考える。
- 4 山おくに大きな樹木がある。
- 5 見た景色を忠実にえがく。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 こうかんがもてる人物。
- 2 過去の出来事をさいげんする。
- 3 さいふにまでこだわる。
- 4 家庭科でかこう食品について調べる。
- 5 がぞうをパソコンに取り込む。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ 1 「源流」は「流・れの・源」のことで、「水源」という言葉もあるよね。
- 2 「老いた人を敬う」ということ。「敬」は「尊敬」と、「老」は「老人」と同じ読みだよ。
- 3 「詞」は「詩」と同じ読みだよ。
- 4 カブトムシは「樹液」を吸うよ。「木」は「き」と読まないよ。
- 5 「忠実にえがく」というのは「見たそのままをえがく」ことだよ。
- Ⅱ 1 「こうかん」は「このましくかんじる」ことだよ。
- 2 「さいげん」は「ふただひあらわす」ことだよ。
- 3 こまかいさいふんと書くよ。
- 4 原料に手をくわえて作ったものが「かこう食品」だよ。
- 5 「が」は「がめん」と「ぞう」は「えいぞう」と同じ字だよ。



からなまほ
〈ヒント〉を真まろ。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 招待状を郵送する。
- 2 けがが治るまで看病をする。
- 3 パズルで頭脳をきたえる。
- 4 切り株にししかける。
- 5 つり糸を垂らす。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 よねねをはく。
- 2 卵を使ったちようりを楽しむ。
- 3 短時間でおぼえる。
- 4 飼い犬のせわをする。
- 5 動物のしゆうせいを調べる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 郵便で送ることだよ。
- 2 病院では看護師さんが働いているね。
- 3 「頭」は「頭上」と、「脳」は「能」と同じ読みだよ。
- 4 「切り株」は木を切り取ったあとに残った根本の部分だよ。
- 5 「うでをたらしと垂らす」、「ひもを垂らす」などでも使らよ。
- Ⅱ 1 「ね」は「ねいろ」と同じ字だよ。
- 2 「ちようり」は「ちようろ」と、「り」は「りか」と同じ字だよ。
- 3 「おぼえる」と「目がさめる」の「さ(める)」は同じ字なんだね。
- 4 「せ」は「せかい」と、「わ」は「わたい」と同じ字だよ。
- 5 「動物のしゆうせい」とは「動物に見られる行動の仕方」のことだよ。



ひらがなを
ヒントに見よう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 本の巻末を見る。
- 2 学校で法律の勉強をする。
- 3 戸の開閉に気を付ける。
- 4 運動会の翌日は休みだ。
- 5 激しい風が木々をゆらす。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 かぜをひいたので、びょういんに行く。
- 2 意外にやさしい問題。
- 3 よくこえた土地で作物を育てる。
- 4 害虫のてんてきを調べる。
- 5 自分たちにとってゆうりなゲーム展開。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ-1 「巻末」は本の終わりの部分。本を数えるときに「一巻、二巻」と言うよね。
- Ⅰ-2 「法」は「方法」と、「律」は「規律」と同じ読みだよ。
- Ⅰ-3 「開けたり閉めたりすること」を合わせて「開閉」と言うんだね。
- Ⅰ-4 「翌日」は「次の日」のことだよ。
- Ⅰ-5 「激しく変わる」ことを「激変」と言うよ。
- Ⅱ-1 「びょう」は「やまい」とも読むよ。「いん」は「B (二重とくん)」だよ。
- Ⅱ-2 「やさしい」は「ほうえき」の「えき」と同じ字だよ。
- Ⅱ-3 「こえる」は「ひりょう」の「ひ」と同じ字だよ。
- Ⅱ-4 「てんてき」とは、「ある生き物の生存をおびやかす他の生き物」のことだよ。
- Ⅱ-5 「ゆうり」は「りえきがあること」。反対の言葉は「不り」だよ。



かなひきき
（と）書きき。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 熱い蒸気が顔に当たる。
- 2 みんなで合奏するのは楽しい。
- 3 高層ビルが建ち並ぶ。
- 4 名文を視写する。
- 5 独立を宣言する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 けいきがよくなる。
- 2 くべつでくべつする。
- 3 チームのかなめとして活やくする。
- 4 手料理をししよくする。
- 5 つうしん機器を利用する。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 水蒸気が冷えて白いけむりのように見えるのが湯気だね。
- 2 「演奏を合わせる」と書いて「合奏」なんだね。
- 3 「層」は「地層」と同じ読みだよ。
- 4 「視」は「視力」と同じ読み。目に関する言葉だから、「視写」は「見て書き写す」ことだよ。
- 5 「宣」は「宣伝」と、「言」は「言語」と同じ読みだよ。
- 二 1 「けいき」がよくなると、福引の「けいひん」もよくなるかもね。
- 2 「くべつ」とは「くぶんしてくべつにすること」だよ。
- 3 物事の最も大切な部分や人のことだよ。話の最も大切な部分を「よつてん」と言うよね。
- 4 「ししよく」とは「ためしにたべてみること」だよ。
- 5 「つうしん機器」を使って情報を伝達するよ。「学級つうしん」も同じ字だね。



かながらまじ
へいへんをまよ。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 配付するプリントの枚数を数える。
- 2 船の模型を作るのが楽しい。
- 3 背後に人が立つ。
- 4 勇気を奮って参加する。
- 5 学級で討論会を開く。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 練習の成果を生かしてせいしよする。
- 2 竹にはふしがある。
- 3 時間をかけてせつとくする。
- 4 たんどくで出かけるのは危険だ。
- 5 木のねんりんを調べる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「プリントが一枚足りません。」などと言うよね。
 2 「模」は「規模」では「ぼ」と読むけど、「模型」はちがうよ。
 3 あお向けになって泳ぐ泳法のことを「背泳」と言うよね。
 4 「決勝戦を前に奮い立つ」という場合にも使うよ。
 5 「討」は「検討」と「論」は「論理」と同じ読みだよ。
- Ⅱ 1 きれいにかけるとうれしいよね。「せい」は「きよ(らか)」という字だよ。
 2 「きせつ」や「せつぶん」の「せつ」も「ふし」のことだよ。
 3 「せつ」は「せつめい」と「とく」は「え(る)」と同じ字だよ。
 4 「たんどく」は「たんしん」、「ひとり」ということだよ。
 5 「ねんりん」を見れば木のねんれい分かるよね。「わ」の形になっているよ。



かなひきまは
ていねいに書こう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 著名な作家のサインをもらおう。
- 2 考えたことを簡潔に伝える。
- 3 厳しい顔つきで注意する。
- 4 磁力を使ったおもちゃを開発する。
- 5 郷土を思う気持ちが強いの。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 たぐいまれな才能に目を見はる。
- 2 発表になれるように練習する。
- 3 じきゆう走をする。
- 4 ふくすうの答えを用意する。
- 5 巨大めいろがあるテーマパーク。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「著名」とは、「有名」ということだよ。「著」は「著作」と同じ読みだよ。
- 2 「簡潔にまとめましょう。」というのは、問題でよく見る指示だよ。
- 3 人に注意するときは、厳しい声になるね。
- 4 「磁石」や「電磁波」と同じ読みだよ。
- 5 「郷」は「故郷」、「郷里」と同じ読みだよ。
- 二 1 「たぐい」は「しゅるい」の「るい」と同じ漢字だよ。
- 2 「な(れる)」のは心だから、「りっしんぐん」が部首だよ。
- 3 「じ」は「じぞく」と、「きゆう」は「えいきゆう」と同じ字だよ。
- 4 「ふく」は「ふくぎつ」と同じ字だよ。
- 5 「めいろ」に入るとまよってしまふよ。 「ろ」は「どろろ」と同じ字だよ。



かなひらかな
をいっしょに
書いてみよう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 歴史を専門とする学者。
- 2 穀物の生産量を調べる。
- 3 内閣の組織について学習する。
- 4 浴道でマラソン選手を応援する。
- 5 劇場で映画を見る。

1	
2	
3	
4	
5	

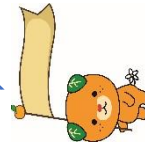
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 事態のしんそうをさぐる。
- 2 失敗のべんかいをする。
- 3 すいえいが得意だ。
- 4 こんどこそでいねいに書く。
- 5 めいはくな事実をつきつけられる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「専門」とは「特定の分野の学問や仕事などを研究すること」だよ。
- 2 米、麦、豆などを「穀物」と言うよ。
- 3 日本の政治の中心となる人を「内閣総理大臣」と言うよね。
- 4 「浴」は「沿岸」と同じ読みだよ。
- 5 「映画館」のことを「劇場」と呼ぶことがあるよね。
- 二 1 「しんそう」とは、「物事の本当のすがた」のことだよ。
- 2 「べん」は「べんろん」と、「かい」は「かいとう」と同じ字だよ。
- 3 「すいえい」は、「みずの中でおよぐこと」だよ。
- 4 「こん」は「こんかい」、「こんや」と、「どこ」は「どすう」と同じ字だよ。
- 5 「めいはく」は「つきりしている」という意味だよ。



かなひらきまほ
 (ヒント) を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 新しい命が誕生する。
- 2 競技団体に加盟する。
- 3 友達と二人だけの秘密にする。
- 4 憲法を学んで法律家になる。
- 5 納品期限を守る。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 六年生にしんきゆうする。
- 2 整ったぶんしょうを書く。
- 3 花びんに水をさす。
- 4 こんぽん的な解決を目指す。
- 5 気に入ったかぐを置く。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 誕生日には、歌を歌ってお祝いしたいね。
 2 「加入すること」だよ。「盟」は「連盟」と同じ読みだよ。
 3 「秘密にする」とは「ないしょにする」ことだね。
 4 社会科で、すべての法やきまりが「日本国憲法」にもとづいて作られていることを学習するよ。
 5 「納品」は品物を納めること。「納」は「納税」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しん」は「しんしゅつ」と、「きゆう」は「がつきゆう」と同じ字だよ。
 2 「しょう」という字は、「たつ」と「はやい」を組み合わせるよ。
 3 「ねむげがさす」、「いやげがさす」という使い方もするよ。「指す」ではないよ。
 4 「こんぽん」と「こん底」は同じ意味の言葉だよ。
 5 「か」は「いえ」と、「ぐ」は「どうぐ」と同じ字だよ。



かなひらき
ていねい

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 友達から手紙が届く。
- 2 危ない橋をわたる。
- 3 ふるさとの展を見学する。
- 4 ステージの幕を上げる。
- 5 物の価を考える。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 裁判で無実をしょうげんする。
- 2 友達のせいな行動をせいする。
- 3 たえ間なく水が流れる。
- 4 航空会社のしよくいんとして働く。
- 5 しょうぶすると「か(ち)ま(け)」がは(ち)ま(け)するね。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「かゆいところに手が届く」という使い方もあるよ。
- 2 「危ないこと」を「危険」とも言うよ。
- 3 「展」は「展示」「展覧会」と同じ読みだよ。
- 4 「幕」は「幕府」とは読みがちがうよ。お祭りのときに紅白の幕を張るよね。
- 5 「価」は「価格」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しょう」は「しょうめい」と「げん」は「げんい」と同じ字だよ。
- 2 「せい」は「せいげん」と「し」は「し(める)」と同じ字だよ。
- 3 「たえ間なく」は「た(えず)」とも言うよ。
- 4 「しよく」は「しき」の「しき」と同じつくりをもつけど、「耳(みみく)」だよ。
- 5 「しょうぶ」すると「か(ち)ま(け)」がは(ち)ま(け)するね。